

解答

□

問一 イ、オ
問二 今日一日自分が何を話し、それが事柄にどのような影響を及ぼしたのかといったことをはっきりと思いつけないことがよくあり、事実と言葉が融合しないから。

問三 ① エ ② ウ ③ オ ④ ア ⑤ イ

問四 ③ ゆっくり聞こえる眠気を誘うような口調や難しくめんどうな専門用語を聞いていると、話を聞きながらつい眠ってしまうこと

⑥ 明治維新のときに西洋から大量に入ってきた、それまでの日本語の概念になかった言葉に漢字をあてて見事に訳して使ったこと

⑪ 本の主意や、その本が何を追及しているのかを考えること

⑫ 人間の複雑に入り組んだ部分や容易に底が見通せないような暗い部分をもっと尊重するようにすること

問五 聞いている心地よく、のどかで流ちょうに話される、聞いている人の神経を逆でないおだやかな話しぶりの講演。

問六 昔と比べて時間が早く流れるためにゆっくりと聞いたり話したりする暇がないので聞くのも話すのも利利的になってしまい、相手の言葉に対して反応するだけになってしまっているために、他人の言葉を耳で聞いて、感情のトーンも含め相手の話の内容を把握することが下手になってきているということ。

問七 日本が中国から輸入した言葉である漢字を使ってつくった造語を、今度は中国が日本から輸入して自国の言葉に適用して使っているということです

問八 事柄

問九 広がりをもっている言葉を意味の広がりそのまま捉えるという長い歴史の中で培ってきた日本人のもともとの能力と、国際化が進む中で外国から入ってきた意味を一つだけに限定して単純明快に論旨を組み立てるという技術が、現在では別々のものとして存在してしまっているということ。

問十 伝統である「言葉」が失われてしまえば、母国語という足場を失いただ外国の模倣にたよるという人間の文化として悲惨なことになってしまうので、伝統は簡単に手放すべきものではないから。

問十一 人がくゝる場所

問十二 ウ

問十三 立場

問十四 国際化、合理化に伴って、言葉のあり方や使い方が変わってきている中で、誤解を生まず言葉だけで正確に伝え共通の認識を組み立てるために、自分の内面の複雑さを取り戻し、それ相応の言語を今の時代に適ったかたちで身につけて用い、世界における日本語の意義を再認識することが大事である。

□

1 均一
2 至福
3 口径
4 探訪
5 仏閣
6 敬服
7 大衆
8 採る
9 努める
10 延べ